

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句  
令和二年七月度 入選句（投稿総数千五百四十二句・小中学投句数千八句）

特選

選者 高木 佐知子

ありさんがキャベツをはこびおもしろいだ 大垣市 まつ原 ゆ月(小三)

食料となるさまざまなものを運ぶアリの行列を見ることは少なくなりました。作者はそれを見つけたのですから、きつと食い入るように見ていたのでしょう。アリよりも大きなキャベツだったのでしようか、「おもしろいだ」の下五からアリの必死さを想像することができます。一生懸命に食べ物を運ぶアリの姿に感動し、応援している一句ですから、この句の季語は「あり」ですね。

太陽がごきげんになり梅雨明け 大垣市 川西 恵(小四)

今年はいつもの年より梅雨が長く、太陽が照ったかと思うと雲にかくれてしまうという日も多くありました。いつものような夏のまぶしい日差しが感じられたらようやく梅雨明けです。梅雨明けを「太陽がごきげんになり」と表したところに梅雨明けを楽しみに待つわくわくした気持ちがおこめられています。中七の言葉がこの一句を明るい俳句にしています。

おなかすき採れたてトマトつまみ食い 大垣市 平松 由衣(小六)

緑色から赤色に熟したトマトは、畑の中でも一段と目立ち収穫されます。学校から帰った作者は早速そのおいしそうな赤いトマトを見つけ、思わず食べたのでしよう。おなかすいていたというので、さぞかし満足したことでしょう。優しい笑顔が浮かびます。「採れたてトマト」の中七が家族への感謝の一言にも感じられる温かい一句です。

秀逸

風鈴の音色と共に日が暮れる 加茂郡川辺町 樋口 翔太(中二)

ペダルこぎ夏の風きる通学路 加茂郡川辺町 朝日 漣(中三)

ひまわりとしんちようくらべまけちゃった 大垣市 安田 悠人(小三)

今日は雨ふむなふむなとかたつむり 大垣市 早野 莉央(小四)

七夕にねがいをかいて目をつぶる 大垣市 山岸 愛佳(小四)

雨降っておうちに来たよカタツムリ 大垣市 大倉 怜太(小二)

らんどせるだいぶなれたいちねんせい 大垣市 まつだ なみ(小二)

あさがおに大きくなあれとこえかける 大垣市 林 稜 響(小二)

カエルさんみとれるほどのせおよぎだ 大垣市 久野 楓 真(小五)

なすの葉にあめのしづくがきらきらと 大垣市 鍵田 涉 悟(小五)

入選

父親と見に行きたかった甲子園	加茂郡川辺町	後藤	飛侶(中二)
かたつむり壁をゆっくり登ってく	加茂郡川辺町	林いぶき(中三)	
授業中その首すじににじむ汗	加茂郡川辺町	渡辺	悠斗(中三)
押し入れの奥から出した扇風機	加茂郡川辺町	鈴木	理央(中三)
風鈴の音が伝える夏の風	高山市	吉村	賢哉(中二)
かたつむりかくれてないででておいで	大垣市	おがわ	けんせい(小三)
ほたるがねおしり光らせ友をよぶ	大垣市	吉田	悠菜(小四)
夏野菜ぐんぐんのびて私のせ	大垣市	太田	菜々(小五)
雷がひかりいっしゅん見える空	大垣市	市川	莉緒(小六)
くものすが光っているよ雨の中	大垣市	傍島	快斗(小四)

入選

ながぐつもおふろにはいるあめのみち	大垣市	みやべ	そら(小二)
あさがおのしぼんだはなでいろあそび	大垣市	渡部	心結(小二)
くいせがわかものおやこもかくれんぼ	大垣市	須網	漣(小二)
とうげこう今日もいるかなかたつむり	大垣市	すずき	ももか(小二)
つかまえたかぞくになったザリガニさん	大垣市	すな川	春の(小二)
夏野菜カレーに入れたらおいしそう	大垣市	高山	結衣(小四)
あげ羽ちよう花がきれいとおどってる	大垣市	林風美	照(小四)
母の日に花一りんのおくり物	大垣市	泉侑乃介	(小五)
二百メートル泳げた夏をわすれない	大垣市	加納	都和子(小五)
田植えするじいさんねらってサギが来る	大垣市	北川	舞織(小五)

選者吟

小さき風広き青田をかき回す

佐知子